

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 11 月 15 日 (2012.11.15)

【公開番号】特開 2009-91552 (P2009-91552A)

【公開日】平成 21 年 4 月 30 日 (2009.4.30)

【年通号数】公開・登録公報 2009-017

【出願番号】特願 2008-228375 (P2008-228375)

【国際特許分類】

C 08 L 27/00 (2006.01)

C 08 K 5/00 (2006.01)

【F I】

C 08 L 27/00

C 08 K 5/00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 24 年 9 月 28 日 (2012.9.28)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 塩化ビニル、フッ化ビニル、塩化ビニリデン、およびフッ化ビニリデンから選択される 1 以上のモノマーのハロゲン化ポリマーを少なくとも 80 重量%含むホモポリマーもしくはコポリマー、および塩素化ポリ塩化ビニル、および塩素化ポリエチレンから選択される 1 以上のハロゲン化ポリマー (A) 20 ~ 99 重量% ;

(b) 50000 より大きい重量平均分子量を有する 1 以上のコポリマー (B) であって、モノマー繰り返し単位基準で 0.4 から 5 モル%の、
 - ケトエステル、
 - ケトアミド、
 - ジケトン、シアノ酢酸エステル、マロネート、ニトロアルカン、
 - ニトロエステル、スルホンアジド、チオール、チオール-s-トリアジン、およびアミンから選択される 1 以上の官能基 (該官能基は、これらの官能基を含有するエチレン性不飽和モノマーを重合することによるか、または重合後にポリマーをさらなる反応で後官能化することにより、ポリマー中に組み入れられる) を含むコポリマー (B) 0.5 ~ 20 重量% ;
 を含む配合物。

【請求項 2】

前記官能基を、コポリマー (B) のモノマー繰り返し単位基準で 0.8 から 5 モル%含む請求項 1 記載の配合物。

【請求項 3】

前記官能基を含有するエチレン性不飽和モノマーが、
 - ケトエステルおよびアミド、
 - ジケトン、シアノ酢酸エステル、マロネート、ニトロアルカン並びに
 - ニトロエステルの群から選択される請求項 1 記載の配合物。

【請求項 4】

前記官能基を含有するエチレン性不飽和モノマーが、アセトアセトキシエチル (メタ) アクリレート、アセトアセトキシプロピル (メタ) アクリレート、アセトアセトキシブチル (メタ) アクリレート、2,3-ジ (アセトアセトキシ) プロピル (メタ) アクリレート、アセトアセトキシエチル (メタ) アクリルアミド、2-シアノアセトキシエチル (メタ) アクリレート、2-シアノアセトキシエチル (メタ) アクリルアミド、N-シアノアセチル-N-メチルアミノエチル (メタ) アクリレート、N- (2-プロピオニルアセト

キシブチル) (メタ) アクリルアミドの群から選択される請求項 1 記載の配合物。

【請求項 5】

前記官能基を含有するエチレン性不飽和モノマーがアセトアセトキシエチル (メタ) アクリレートである請求項 1 記載の配合物。

【請求項 6】

0.1 から 6 重量 % の発泡剤をさらに含む請求項 1 記載の配合物。

【請求項 7】

コポリマー (B) のガラス転移温度 (T_g) が 0 から 150 の間である請求項 1 記載の配合物。

【請求項 8】

コポリマー (B) のガラス転移温度 (T_g) が 55 から 150 の間である請求項 1 記載の配合物。

【請求項 9】

(a) 塩化ビニル、フッ化ビニル、塩化ビニリデン、およびフッ化ビニリデンから選択される 1 以上のモノマーのハロゲン化ポリマーを少なくとも 80 重量 % 含むホモポリマーもしくはコポリマー、および塩素化ポリ塩化ビニル、および塩素化ポリエチレンから選択される 1 以上のハロゲン化ポリマー 20 から 99 重量 % ;

(b) 50000 より大きい重量平均分子量を有するポリマーであって、 - ケトエステル、 - ケトアミド、 - ジケトン、シアノ酢酸エステル、マロネート、ニトロアルカン、 - ニトロエステル、スルホンアジド、チオール、チオール - s - トリアジン、およびアミンを包含する官能基の 1 以上を、モノマー繰り返し単位基準で 0.4 から 5 モル % 含むポリマー 0.5 ~ 20 重量 % ;

を含む、押出配合物。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0012

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0012】

本発明は、

(a) 塩化ビニル、フッ化ビニル、塩化ビニリデン、およびフッ化ビニリデンから選択される 1 以上のモノマーのハロゲン化ポリマーを少なくとも 80 重量 % 含むホモポリマーもしくはコポリマー、および塩素化ポリ塩化ビニル、および塩素化ポリエチレンから選択される、1 以上のハロゲン化ポリマー (A) 50 ~ 99 重量 % ;

(b) 50000 より大きい重量平均分子量を有する 1 以上の (コ) ポリマー (B) であって、モノマー繰り返し単位基準で 0.4 から 100 モル % (好ましくは、0.8 から 40 モル %、さらに好ましくは 0.8 から 5 モル %) の、 - ケトエステル、 - ケトアミド、 - ジケトン、シアノ酢酸エステル、マロネート、ニトロアルカン、 - ニトロエステル、スルホンアジド、チオール、チオール - s - トリアジン、およびアミンから選択される 1 以上の官能基 (前記官能基は、これらの官能基を含有するエチレン性不飽和モノマーを重合することによるか、または重合後にポリマーをさらなる反応で後官能化することにより、ポリマー中に組み入れられる) を含む (コ) ポリマー (B) 0.5 ~ 20 重量 % ; を含む配合物である。